

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立宮北小学校
校長氏名	道本 美月
作成日	平成31年 3月15日

1 教育目標

心身ともに健やかで、たくましく生きる子供の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、県学習到達度テストの正答数が県平均を上回る ・「毎日の授業がよく分かる」(アンケート児童90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の振り返りやポートフォリオの作成 ・「学校が楽しい」と感じる(児童アンケート95%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストの結果が全てにおいて県平均を上回る ・食後の歯磨きチェックをおこなう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の様子がよく伝わった」(保護者アンケート90%) ・「だれとでも挨拶ができる」(児童アンケート90%)
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ◎教員の指導力の向上 ◎子供同士の学び合いの充実 ・家庭学習の充実 ・補充学習の充実 ・個のニーズに応じた学力の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳教育・人権教育の充実 ◎「全校活動」を通した仲間作り ・読書活動の推進 ・「宮北立腰」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎持久力・体力向上の推進 ・「全校活動」を通した基礎体力の充実 ・「歯ブラシ指導」と「睡眠教育」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校からの積極的な情報発信 ◎幼保連携・小中連携の推進 ・積極的にあいさつができる子供の育成
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が研究授業実践を実施 ・「聞く・話す」力の育成について研修実施 ・学力テストの結果を踏まえた研修と授業改善 ・支援を必要とする児童への共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業を利用した人権研修を実施し、子供一人ひとりに寄り添う教育について共通理解を図った。 ・6年生を中心にした「全校活動」を充実させて、仲間意識の醸造ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「全校活動」は色々な活動を取り入れて基礎体力作りにつながるように意識出来た。 ・「歯ブラシ指導」とあわせて歯磨きチェックも行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの定期的な発行をおこなった。 ・HPの更新回数を増やした。 ・幼保連携、小中連携を進めることができた。
取組の成果と課題【C】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が研究授業を実施し、授業改善へつながった。全国学力・学習状況調査については県、全国よりも高いポイントであった。児童アンケート「毎日の勉強がわかる」が、指標の90%をほぼ達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科に特化した研修の時間を十分に取れなかった。読書タイムの充実や図書室の環境作りに課題が残った。 ・「学校が楽しい」(児童アンケート95%)が90%しか達成できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストを活用して、子供たちの体力向上のために意識を高め、「全校活動」の基礎体力つくりにつなげることができた。 ・保健指導での歯ブラシ指導が充実できたが、「睡眠教育」 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりのHPについては保護者や地域の方々から評価していただいた。 ・幼保連携、小中連携の取組を進めることができた。
改善方法【A】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後学習をコミュニティスクールにも位置付けて充実させる。 ・家庭学習で自学ノートの内容を考えを深められるようにしたり、書く活動を充実より充実させる。 ・県学力到達度調査で課題の残る現5年生への取組をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮北立腰」の位置付けが明確ではなかったため、道徳科の研修に合わせて、内容や方法について研修する機会をつくりたい。 ・図書ボランティアの導入について具体的方策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストの実施方法について、全教員で共通理解を図ることを徹底させる。県平均より下の項目について検証し改善する。 ・生活習慣の見直しを図るためにも、「睡眠教育」の保護者啓発に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の様子を保護者にわかりやすく伝えている」(保護者88%)の結果は変化がなかったことを踏まえて、内容の精査をしていく。

3 その他の課題

